

◆第4回地域新エネルギー・省エネルギービジョン
策定委員会 議事内容

○質疑応答 主な質問と回答の概要については、次のとおり。

★報告書全体について

〈Q1〉電力の目標年次のCO₂排出係数を、2008年積算時の0.432kg-CO₂/年から0.32kg-CO₂/年にするというこの詳細はどうなっているか。

【A1】北陸電力では、1kWあたりのCO₂排出係数を、2008年から2012年の5ヵ年平均で0.32kg-CO₂/年にするという目標を掲げ取り組んでおり、海外との排出権取引も絡めて目標の達成を考えている。

★参考資料（1990年のCO₂排出量推計）について

〈Q1〉内灘町のCO₂排出量の1990年からの伸び率を石川県や金沢市と比較した場合、たとえば民生家庭部門が大きく増えているが、なぜ内灘町が大幅に増えたのか疑問に思う。人口増加等、何か理由があったのか。

【A1】民生家庭部門のCO₂排出量は、世帯数の増加分と1世帯あたりのCO₂排出原単位の増加分を掛け算することで概ね示すことができる。内灘町は世帯の増加率だけで見ても、石川県や金沢市と比べて高くなっている。内灘町は、金沢医科大学があるため看護師寮等の一人世帯が非常に多いという特性もあり、また統計上高齢者のみの世帯も多くなっている。なお、国のデータでは2007年の段階で、1世帯あたりのCO₂排出原単位は1990年比で12%増加している。

*1990年のCO₂排出量推計については、より詳細な調査が必要なことから、今回の報告書には掲載しないこととした。